

NK工法の施工手順

STEP
1

下地調整

下地と塗料の付着を阻害するようなレイタンス、油脂、錆、汚れを除去します。
ひび割れ部からの水分は十分に止水してください。



STEP
2

KFシールテクトアンダーコートNK塗布

付属の容器に硬化剤と粉体を入れ、攪拌機で混合してください。
さらに主剤を加え、均一になるまでしっかり攪拌します。
刷毛やローラーを使って簡単に塗布可能です。



STEP
3

KFシールテクトNKトップ塗布

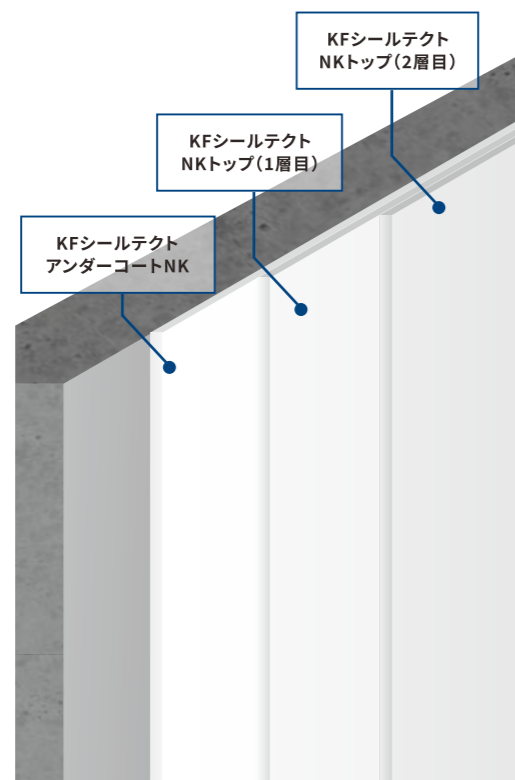
1液湿気硬化型ウレタン塗料で、混合不要です。
刷毛やローラーを使って簡単に塗布可能です。
1層目が完全に乾燥する前に重ね塗りすることが可能です。



各種塗料の可使用時間と塗装間隔

標準施工断面図

材料	5~10℃ (冬期)			10~25℃ (春秋期)			25~35℃ (夏期)			
	可使時間	6時間	4時間	2時間	塗装間隔	30分~7日間	塗装間隔	1時間~7日間	30分~7日間	30分~4日間
KFシールテクトアンダーコートNK	可使時間	6時間	4時間	2時間	塗装間隔	30分~7日間				
KFシールテクトNKトップ1層目	塗装間隔				塗装間隔					
KFシールテクトNKトップ2層目	塗装間隔	1時間~7日間	30分~7日間	30分~4日間						



KFシールテクト NK工法 標準仕様 Standard Specification

工程	商品名	材料名	標準塗布量	塗装間隔
素地調整		<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工箇所に残存する既存止水材を除去して下さい。 ・ 鋼材部に付着している浮き錆は念入りに除去して下さい。 ・ 鋼材部の錆はサンダーケレン等で除去して下さい。 		
下塗り工	KFシールテクトアンダーコートNK	3成分型水性エポキシ塗料	0.35kg/m ²	0.5時間~7日間
上塗り工①	KFシールテクトNKトップ	1液湿気硬化型ウレタン樹脂塗料	0.3kg/m ²	0.5時間~7日間
上塗り工②	KFシールテクトNKトップ	1液湿気硬化型ウレタン樹脂塗料	0.3kg/m ²	—

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

コンクリート表面保護工法

KFシールテクト NK工法

施工条件

- ⚠ 気温5℃以上・湿度85%以下の環境で作業すること。
- ⚠ 施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと。
- ⚠ 施工面の補修歴が施工に支障のない下地であること。
- ⚠ 施工面が雨水等で濡れていないことを確認すること。(下地含水率10%以下)
- ⚠ 施工面を十分に清掃し、付着阻害要因となる異物を除去すること。
- ⚠ 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

KF KFケミカル株式会社
KF Chemicals, Ltd.

■ 本 社 (土木・建築事業部)
〒105-0004 東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F
TEL:03-6629-9033 FAX:03-6629-9023
<http://www.k-fine.co.jp/>

特約店

Merit of KF Sealteck NK Method

KFシールテクト **NK工法** のメリット

1day

速乾性塗料で
1日で完工可能

速乾性の優れた水性系の下塗り塗料 QUICK DRYING

セメント系粉体と水性エポキシ樹脂、水性アミン樹脂の3成分からなる水性系塗料なので、下塗りの乾燥時間を削減できます。

交通規制の期間短縮 PERIOD SHORTENING

一日で施工完了が可能なので、工事による交通規制の短縮を実現できます。

ローラー施工なので特別な技術は不要 ROLLER CONSTRUCTION

特殊な用具や塗装技術は必要ない、誰でも簡単に施工可能な工法です。

推奨塗装用具 >>> ローラー / 施工可能用具 >>> 吹き付けガン、刷毛

コンクリート以外の下地でも高接着性を発揮 HIGH ADHESION

劣化した旧塗膜や鋼材、亜鉛メッキ鋼板への接着性が優れた下塗り塗料を使用しているため、仕上がりが綺麗です。

適応下地 >>> モルタル、コンクリート、鋼板、亜鉛メッキ鋼板、各種塗装下地

独自開発した
高性能ポリウレタ樹脂で
圧倒的な耐候性

施工前



施工後

3成分型水性エポキシ塗料

KFシールテクトアンダーコートNK

下地や上塗り塗料との密着性が高く、下地調整材としての役割も果たす水性の下塗材

荷姿 20Lポリベール缶、主剤2.0kg、硬化剤2.0kg、粉体5.4kg

標準塗布量 0.35kg/㎡



KFシールテクト アンダーコートNKの特長

FEA TURE 1 ローラーで施工可能

FEA TURE 2 白い塗料なので下地の色ムラを隠してきれいに仕上がりがやすい

FEA TURE 3 下地の微細なひび割れや素穴の補修効果が期待できる

FEA TURE 4 塗膜表面がサラついているため、上塗りでローラーを使用したときに滑りにくい

FEA TURE 5 施工後の乾燥が速い

FEA TURE 6 セメント硬化とエポキシ硬化の2つの硬化システムで強固な下地を形成

KFシールテクト アンダーコートNKの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	6時間	10時間
23℃	2時間	5時間
35℃	1時間	3時間

使用上の注意

⚠️ ポリベールに硬化剤と粉体をすべて入れ、電動攪拌機で1分間混合する。混合液が均質になったところに主剤を入れ、更に1分間混合する。

⚠️ KFシールテクトアンダーコートNKは可使時間を過ぎてでも使用可能ですが、可使時間がすぎると下地との付着性が低下するので可使時間は必ず守ってください。

1液湿気硬化型ウレタ樹脂塗料

KFシールテクトNKトップ

消防法危険物第四類第二石油類

未乾燥状態でも重ね塗りができる特殊な硬化機構を有し、施工時間を短縮できる上塗り材

荷姿 石油缶15kg

標準塗布量 0.6kg/㎡ (0.3kg/㎡を2回塗り) ※ KFシールテクトNKトップは2回塗り標準ですが、施工状況により2回以上の塗装も可能



KFシールテクト NKトップの特長

FEA TURE 1 ローラーで施工可能

FEA TURE 2 構造物の耐久性向上

FEA TURE 3 耐候性に優れる

FEA TURE 4 コンクリート表面被覆工法の性能を有する

FEA TURE 5 たるみに性に優れており、1層目が未乾燥状態で2層目を塗装しても塗料がたるまない

KFシールテクト NKトップの乾燥性

塗料温度	指触乾燥(代表値)	硬化乾燥(代表値)
5℃	7時間	18時間
23℃	3時間	7時間
35℃	45分	2時間

使用上の注意

⚠️ 1液タイプなので硬化剤等の混合は不要です。ただし、容器底に塗料中の成分が沈降している場合があるため、使用前にハンドミキサーで30秒攪拌してから使用してください。

⚠️ 空気中の水分と反応する為、数時間放置する場合には、マスキングテープやビニール等で塗料を空気から遮断してください。

性能

試験項目	判定	試験方法
塗膜の健全性	標準養生後	正常
	促進耐候性試験後	正常
	温冷繰返し試験後	正常
	耐アルカリ性試験後	正常
コンクリートとの付着性	耐湿試験後	正常
	標準養生後	2.56N/㎡
	促進耐候性試験後	2.69N/㎡
	温冷繰返し試験後	3.06N/㎡
しゃ塩性	耐アルカリ性試験後	2.33N/㎡
	酸素透過阻止性	合格
	水蒸気透過阻止性	合格
中性化阻止性	中性化阻止性	合格
	標準養生後(常温時)	0.62mm
	標準養生後(低温時)	0.26mm
ひび割れ追従性	促進耐候性後(常温時)	1.28mm

中日本・西日本・東日本高速道路株式会社「構造物施工管理要領」-コンクリートの表面被覆

KF Sealteck
NK Method